

# 1 / 2号機排気筒ドレンサンプピットへの 対策について

2016年11月24日

**TEPCO**

## 東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

### 1 / 2号機排気筒ドレンサンプピットへの対策（全体概要）

**TEPCO**

「福島第一原子力発電所の敷地境界外に影響を与えるリスク総点検」（2015年4月28日公表済）の対応の1つとして1 / 2号機排気筒ドレンサンプピット（以下「ピット」という。）の調査及び対策実施に取り組んできたもの。

#### 【これまでの対応経緯】

- 1 / 2号機排気筒周辺については、現在も雰囲気線量が高く調査が困難なエリアである（最新の雰囲気線量は、2015年9月17日、10月26日公表済）
- 水位・水質の調査及び排水設備の設置について、遠隔ロボット等による作業成立性をモックアップにて確認し、7/25より現地準備作業を開始（2016年7月28日公表済）
- 9/9にピット水位測定を実施し水位が約60cmであることを確認（2016年9月9日公表済）
- 9/14にピットから2号機廃棄物処理建屋へ排水（約0.3m<sup>3</sup>）（2016年9月14日公表済）
- 10/3にピットへ水位計を設置し、水位トレンドの計測を開始（2016年10月3日公表済）

#### 【現在までに確認された事象】

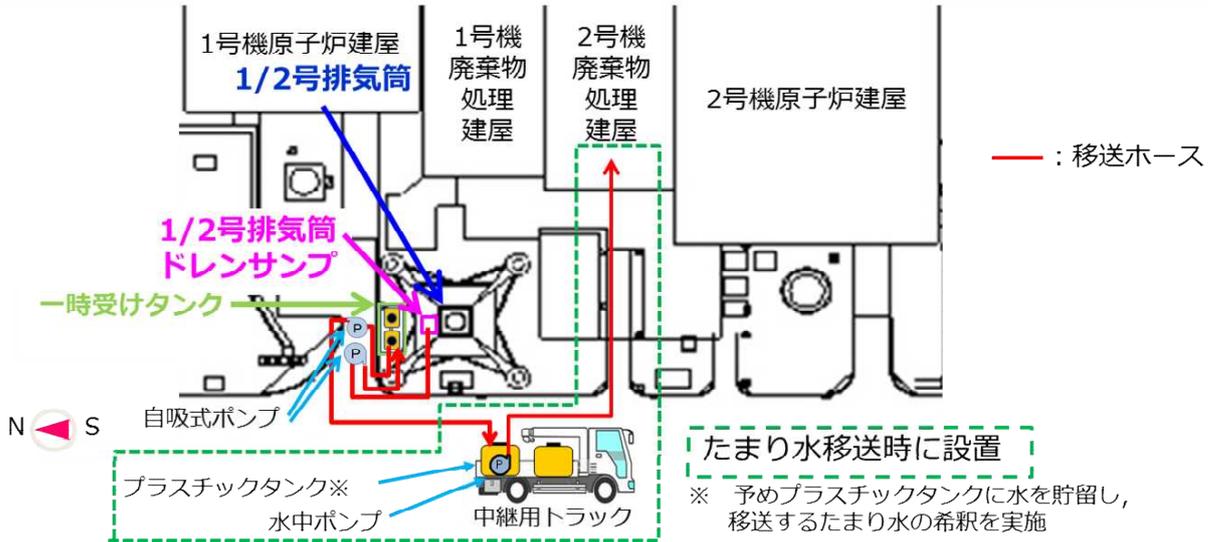
- まとまった降雨があった時にピット水位の上昇を確認

#### 【今後の対応】

- 降雨による水位上昇に対しては、今回設置した排水設備により速やかに移送する
- 今後、以下の改善を図っていく
  - ・漏えいリスクの低減及び高線量エリアでの作業等現場負担軽減の観点から排水設備の改善を図る（2016年度内目途）
  - ・根本的な対策として、排気筒解体時に筒身上部閉塞を実施
- ピット外へ流出していた可能性が考えられることから周辺の水質モニタリングを継続する

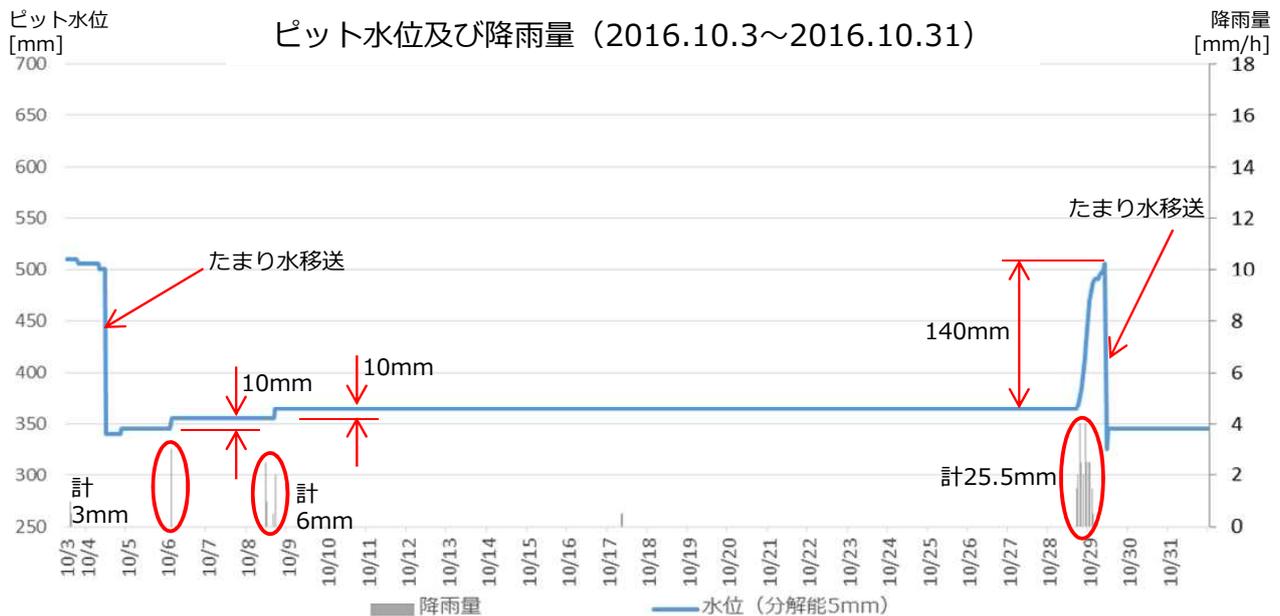
# 1. 1/2号機排気筒ドレンサンプット用仮設排水設備設置 TEPCO

- 10月3日に水位計をインサービスし、下記の通り排水設備の設置が完了。  
ピットの水位の計測を開始。（水位：約50cm）
- 10月4日にピットから一時受けタンクにたまり水を送る（約0.18m<sup>3</sup>）
- 10月29日に一時受けタンクにたまり水を送る（約0.18m<sup>3</sup>）
- 11月11日に一時受けタンクにたまり水を送る（約0.14m<sup>3</sup>）



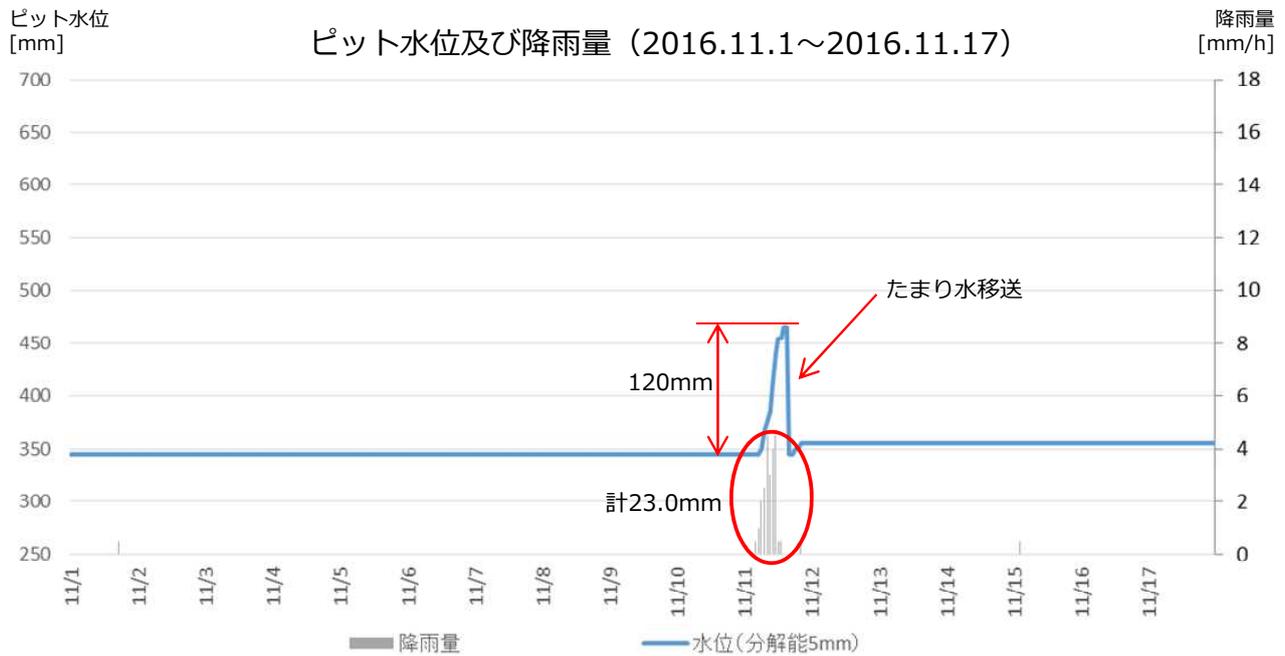
# 2. 1/2号機排気筒ドレンサンプット水位と降雨量の関係 TEPCO

降雨量が数mm程度の場合のピット水位は僅かな水位上昇に留まるが、まとまった降雨の場合は、相当量の水位上昇を確認。



## 2. 1 / 2号機排気筒ドレンサンプピット水位と降雨量の関係

まとまった降雨の場合は、相当量の水位上昇を確認。



## 3. 現在までに確認された事象および今後の対策

### ■ 降雨時にピット水位の上昇を確認

まとまった降雨の場合にピット水位が上昇することを確認した。

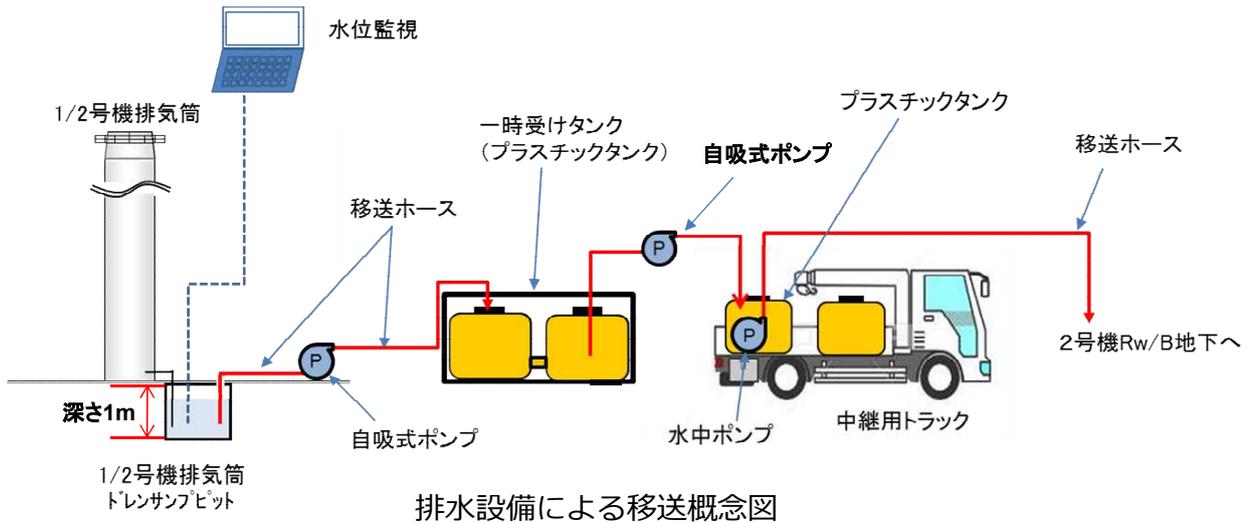
### ■ 雨水流入に対する対策

降雨によるピット水位上昇に対しては、今回設置した排水設備により速やかに移送するとともに、今後以下の改善を図っていく。

- ✓ 漏えいリスクの低減及び高線量エリアでの作業等現場の負担軽減の観点から排水設備の改善を図る。(2016年度内目途)
- ✓ 根本的な対策として、現在検討中の排気筒解体時に筒身上部閉塞を実施する。

なお、まとまった降雨によるピット水位上昇を踏まえると、ピット外へ流出していた可能性が考えられることから、周辺の水質モニタリングを継続する。

■ 排水設備を用いた2号機廃棄物処理建屋への移送概念図



■ ピット内たまり水の水質を分析 (サンプリング実施日 : H28.9.12)

【ピット内たまり水分析結果】

項目	全β放射能	Cs-134	Cs-137
単位	Bq/L	Bq/L	Bq/L
測定値	5.96E+07	8.26E+06	5.19E+07